

**医学部**

I	教育水準	.....	教育 17-2
II	質の向上度	.....	教育 17-4

## I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

### 1. 教育の実施体制

#### 期待される水準にある

##### [判断理由]

「基本的組織の編成」については、同学部は医学科、生命科学科及び保健学科の3学科から編成され、3学科には合計13の学科目又は専攻が設置されている。医学研究院所属の教員が各学科の教育を兼担する体制を整備するとともに、学科編成についても生命科学科を平成19年度に新設するなど、社会的要請に応じて見直しが行われているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、医学科・生命科学科教務委員会、保健学科教務委員会を中心に教育内容・方法の改善に向けた取組がみられるほか、各教務委員会、医療系統合教育研究センター及び情報基盤研究開発センターとの協力体制の下で、教育内容・方法の改善を推進しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、医学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、医学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

### 2. 教育内容

#### 期待される水準にある

##### [判断理由]

「教育課程の編成」については、医学科では6年、保健学科及び生命科学科では4年の教育課程を編成し、医学の知識を系統立てて学習できるように編成されていること、さらに総合選択履修方式の採用や、新たに医療系統合教育科目を設定しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、医学科では学生の要望や社会の要請に対応して医療系統合教育科目及びMD-PhDコースを設置、生命科学科では企業及び高校生対象のアンケート結果を参考に4コースを設置、保健学科では医療福祉体験実習やe-learning導入による看護技術能力強化を図っているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、医学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容

は、医学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

### 3. 教育方法

#### 期待される水準にある

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、医学科の特性に沿って、専門職としての技能及び態度を育成する組み合わせを工夫し、学生の研究能力向上を企図したティーチングアシスタント（TA）制度の活用や研究志向の高い学生への MD-PhD コースを設定しているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、履修ガイダンスや実習オリエンテーションを実施し、平成 17 年度より e-learning 環境を、平成 19 年度からはグレード・ポイント・アベレージ（GPA）制度を導入し、履修科目を自主的に学習させる体制を整えているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、医学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、医学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

### 4. 学業の成果

#### 期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、単位修得状況が、全学教育から専攻教育に移行する 2 年終了時において低い傾向がみられるが、その他の学年及び全体としては 95%程度で推移しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、平成 19 年度の学生からみた授業評価アンケートの結果から、学業の成果に関しておおむね満足度の高い回答が得られているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、医学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、医学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

## 5. 進路・就職の状況

### 期待される水準にある

#### [判断理由]

「卒業(修了)後の進路の状況」については、平成18年度医学部学士の資格取得率は90.2%であり、同年の卒業生102名のうち、臨床研修医91名、進学者0名で、左記以外の者11名とあり、医師国家試験合格率の低下が示唆されるが(資料A1-平成18 データ分析集:19.2.1.1 資格取得状況、及び20.1.1 進学・就職状況)、医学科卒業生の多くは、臨床研修医として病院に就職、一部が大学院に進学しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、医学科では卒後臨床研修マッチング率が92~97%台と高く、また、卒業生に他大学医学部教授や病院長を多く輩出していることから期待される水準にあると判断される。保健学科は、第一期生が卒業したところであるが、就職率、大学院進学率は高いなどの優れた成果があることから、期待される水準を上回ると判断される。

以上の点について、医学部の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、医学部が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

## II 質の向上度

### 1. 質の向上度

#### 相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は6件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質(水準)を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。